



昨年の講座風景

まちだ市民大学HATS

後期講座受講生募集!

05年度後期講座の募集が始まります。募集案内の冊子は、7月11日(月)から、市役所、森野分庁舎、各図書館、各市民センターなどの主な市の施設で配布します。学びを通して新しい出会いができる市民大学と一緒に学びませんか。ご応募お待ちしております。

申し込み

対象 市内在住、在勤、在学中、毎回出席可能(特別な事情を除く)な方。ただし、陶芸講座は初めて受講の方に限ります。

申し込み 募集案内添付の「往復ハガキ」または市販の往復ハガキに希望する講座名・住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記して、8月15日まで(必着)にまちだ市民大学HATS(〒194-0002、町田市森野1-33・10、森野分庁舎内)へ郵送して下さい。

募集講座

名を書いて下さい。申し込みは1人1通1講座のみになります。応募者多数の場合は抽選となります。問まちだ市民大学 ☎729・1195

会場 「陶芸入門土曜講座」は市民大学「陶芸スタジオ」(下小山田町)、「心と体の元気学」は総合体育館(南成瀬)、その他は森野分庁舎

まちだ市民環境講座

【環境とごみをめぐる話題】 私たちのまち・町田の環境問題への取り組みの基本を学びます。特にごみ問題は私たちのくらしの緊急課題ですので、詳しく知り、一緒に考えます。

まちだ市民国際学

【スマトラ沖大地震にみる国際協力の現状と課題】 この講座では昨年末のスマトラ沖大地震・インド洋津波において日本が行った人道援助を振り返り、国際協力の現状と課題を学びます。

【現代の「生老病死」をみつめる】 医療の発達もたらす諸問題と人間の誕生から死までについて、人権と生命倫理の視点から学びます。

町田の郷土史 (全12回) 曜日・時間 火曜日・午後6時30分〜午後8時30分(例外あり)

明治から現代まで

郷土史のあらましを知る上で必要な事柄を、明治から現代まで時代を追って学ぶ、入門的な講座です。 曜日・時間 木曜日・午後6時30分〜午後8時30分(例外あり)

陶芸入門土曜講座

初心者を対象に創作の喜びと楽しさを味わいながら、基本的な技法を学びます。 曜日・時間 土曜日・午後2時〜(2時間程度)

人間科学

【現代の「生老病死」をみつめる】 医療の発達もたらす諸問題と人間の誕生から死までについて、人権と生命倫理の視点から学びます。 曜日・時間 金曜日・午後6時30分〜午後8時30分(例外あり)

心と体の元気学

【ゲームを楽しもう、そして仲間づくりも】 ネオテニスやキンボールなどのニュースポーツを力を含ませてチームプレイを楽しみましょう。 曜日・時間 土曜日・午前9時30分〜午前11時30分

通常の運動に支障のある方、現在治療中の方は医師に相談の上お申し込み下さい。 体育館内で履く運動靴が必要です。

「町田の郷土史」 明治から現代まで 時間:午後6時30分〜午後8時30分(例外あり)

期日	テーマ・内容	講師
9/22(木)	オリエンテーション・自己紹介・基調講義「町田市の特徴・どんなまちか?」	小島資料館館長 小島政孝
9/29(木)	明治維新と町田 - 村の文明開化 -	東京成徳大学教授 鶴巻孝雄
10/6(木)	自由民権運動と町田 - 近代・国家・地域 -	自由民権資料館学芸員
10/13(木)	町田の女性の民権と女権 - 石阪美那、登志を中心に -	女性史研究家 江刺昭子
10/20(木)	理想を求めた若者たち - 明治〜大正期の青年運動 -	自由民権資料館学芸員
10/30(日)	現地学習「目で確かめる町田の歴史」 - 自由民権資料館 他 -	自由民権資料館学芸員
11/10(木)	絹の道と原町田 - 市場から商店街へ -	町田市地方史研究会 森山兼光
11/17(木)	【被爆・終戦60年平和祈念】戦争時代の町田 - 軍事施設・空襲 -	元町田市戦時資料収集委員会委員 森山兼光
11/24(木)	純農村から住宅団地都市へ - 養蚕・三ツ葉・酪農・農住団地 -	町田市文化財保護審議会委員 薄井清
12/1(木)	民俗の変貌 - 持続と変化 -	町田市立博物館副館長
12/8(木)	町田市の誕生 - 多摩丘陵にはばたく市民文化都市へ -	前市民部生活文化担当部長 森口克弘
12/15(木)	最終回「受講のまとめ」受講生同士のグループディスカッション・発表講座を終えて	プログラム委員

「人間科学」 現代の「生老病死」をみつめる 時間:午後6時30分〜午後8時30分(例外あり)

期日	テーマ・内容	講師
9/16(金)	オリエンテーション 生命倫理問題とは何か全体像の概観	東京海洋大学教授 小松美彦
9/23(金)	先端医療と「新優生学」 健康リスクと人体改造	立命館大学教授 松原洋子
9/30(金)	私たちの社会と生命科学 生物としての人間の自己同一性	和光大学助教授 堂前雅史
10/14(金)	現代と病 命の南北問題をエイズ感染症にみる	アフリカ日本協議会代表 医師 林達雄
10/21(金)	医療と人権 ハンセン病から考える	ハンセン病弁護団連絡協議会事務局長 安原幸彦
10/28(金)	病と向き合う 医療技術と制度のはざままで	ノンフィクション作家 向井承子
11/11(金)	ヒトはどうして老いるのか 老化・寿命の科学	東京理科大学教授 田沼靖一
11/18(金)	医と死の文化史 美術が語る生老病死	北里大学名誉教授 西川昭二
11/25(金)	終末期医療と地域ケア	西嶋医院 西嶋公子
12/9(金)	人間の尊厳について 生と死の自己決定権の危うさ	東京大学助教授 市野川容孝
12/16(金)	学びを終えて(話し合いとまとめ)	和光大学助教授 堂前雅史

陶芸入門土曜講座 「心と体の元気学」 ゲームを楽しもう、そして仲間づくりも 時間:午前9時30分〜午前11時30分

期日	テーマ・内容	講師
9/17(土)	ネオテニス (バドミントンラケットとスポンジボールを使うテニス)	心と体の元気学スタッフ
9/24(土)	ネオテニス	心と体の元気学スタッフ
10/1(土)	阿波踊り (初めて阿波踊りをする方の基礎講座)	大和市阿波踊り実行委員 石山香織
10/8(土)	阿波踊り	大和市阿波踊り実行委員 石山香織
10/15(土)	カローリング (氷上のカーリングから考案されたゲーム)	カローリング協会公認講師 北村茂
10/22(土)	カローリング	カローリング協会公認講師 北村茂
10/29(土)	キンボール (直径122cmの巨大ボールを使う球技)	東京都キンボール連盟理事長 坂本理子
11/5(土)	キンボール	東京都キンボール連盟理事長 坂本理子
11/12(土)	ソフトバレー (柔らかいボールを使ったバレーボール)	スポーツ指導者 竹内伊久
11/19(土)	ソフトバレー	スポーツ指導者 竹内伊久

通常の運動に支障のある方、現在治療中の方は医師にご相談の上お申し込み下さい。総合体育館駐車場は有料です。体育館内で履く運動靴が必要です。

「まちだ市民環境講座」 環境とごみをめぐる話題 時間:午後2時〜午後4時(例外あり)

期日	テーマ・内容	講師
9/17(土)	オリエンテーション・自己紹介・基調講義「町田の環境」	町田市清掃事業部部長
10/1(土)	トイレとごみから環境を考える	ダイナックス都市環境研究所代表取締役 山本耕平
10/8(土)	日本のごみ、中国へ行く - 国際リサイクルの実態とメカニズム -	一橋大学講師 山下英俊
10/15(土)	循環型経済社会構築に向けての今後の課題	経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課長
10/22(土)	【公開講座】ごみの減量と有料化 - 全国都市家庭ごみ有料化アンケートから -	東洋大学経済学部教授 元町田市廃棄物減量等推進審議会会長 山谷修作
10/29(土)	シンポジウム「ごみ集積所からのメッセージ」 - 回収現場から見た家庭ごみ有料化の前と後 -	シンポジスト 日野市資源リサイクル事業協同組合理事長 土方十四江 町田市清掃事業部清掃事業所 ごみ収集作業指導員
11/5(土)	【公開講座】シンポジウム「みどりの現状・谷戸山保全」 - 実践現場からの報告 -	シンポジスト 鶴見川源流ネットワーク 小林美晴 三輪みどりの会 佐藤武信 町田歴史管理組理事長 田極公市 きつねくぼ緑地愛護会事務局長 山内良豊 町田市公園緑地課職員
11/12(土)	北部丘陵のまちづくり	コーディネーター 慶應義塾大学教授 岸 由二
11/19(土)	温暖化防止への挑戦 - 世界・地域 -	町田市環境・産業部農のまちづくり担当部長
11/26(土)	シンポジウム「環境教育の現場から」	町田市環境・産業部環境保全課職員
12/3(土)	協働による流域再生 - 源流都市市民として - 最終回に向けての話し合い	シンポジスト 小山田小学校教諭 鶴川第三小学校教諭
12/17(土)	最終回 ワークショップ「私たちに何ができるか」	コーディネーター 和光大学助教授 堂前雅史

「まちだ市民国際学」 スマトラ沖大地震にみる国際協力の現状と課題 時間:午後6時30分〜午後8時30分(例外あり)

期日	テーマ・内容	講師
9/20(火)	今日の国際協力 - 戦後復興からインド洋津波救援まで -	恵泉女学園大学教授・シャブラニール代表 大橋正明
9/27(火)	アチェ、津波・国軍の二重苦を乗り越えて	インドネシア民主化支援ネットワーク(NINDJA)事務局長 上智大学講師 佐伯奈津子
10/4(火)	アチェにおける日本政府の協力	外務省職員
10/11(火)	スリランカの漁民、貧困・内戦・津波の三重苦のなかで - PARCの活動を通じて -	アジア太平洋資料センター(PARC)代表 井上礼子
10/18(火)	日本の災害復興経験を生かしたスリランカ復興支援の現状と課題	国際協力機構(JICA)社会開発部調査役 不破雅実
10/25(火)	日本のNGOによる緊急支援と復興への協力	国際協力NGOセンター(JANIC)広報担当 中川圭吾
11/1(火)	アチェにおける国連の復興支援	ユニセフ駐日事務所代表 浦元義照
11/8(火)	スマトラ沖大地震、津波災害に対する日本赤十字社の復興支援の取り組み	日本赤十字社事業局国際部国際救援課長 粉川直樹
11/15(火)	町田から被災地(スリランカ、インドネシア)へ - スリランカ、アチェの被害状況の報告 -	日本スリランカ文化交流協会副会長 シリ・ヘラット 和光大学経済経営学部助教授 パンパン・ルディアント
11/22(火)	スマトラ沖大地震とインド洋津波の被害と課題 - 我が国の防災対策への教訓 -	東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター教授 今村文彦
12/6(火)	スマトラ沖大地震にみる国際協力の現状と課題	上智大学外国語学部教授 村井吉敬
12/13(火)	受講生企画によるディスカッションとまとめ	恵泉女学園大学教授・シャブラニール代表 大橋正明